

はじめに

2006年度、日本のうたごえは、九条をまもる平和のうたごえをひろげる「SINGING PEACE 999(スリーナイン)」行動を展開し、憲法公布60周年の日、11月3日から3日間“みんなが輝くあったか祭典”を合い言葉に、“憲法の心をうたう祭典”として“2006年日本のうたごえ祭典 in ふくい・北陸”(以下、“ふくい・北陸祭典”)を大きく成功させた。

一人ひとりが孤立させられている今の社会の中で、つながりあうことの大切さ、生きる力、命の大切さが語られている時、あらためて、祭典の“つながり”のステージ、「ぞうれっしゃがやってきた」、「ねがい」など、まさに、“子どもたちの笑顔と歌声があふれ、命が輝く祭典”となった。

この1年、日本のうたごえ祭典に向かって地方のうたごえ祭典、産業別のうたごえ祭典等の全国の連帯活動を展開した。サークル・合唱団の演奏活動の広がりを通して、つくり・うたい・広める創造豊かな運動、それらの活動をうたごえ新聞につなぎ、合唱発表会、協議会活動をはじめとする組織を大きくする活動を積極的にすすめてきた。

しかし、うたごえ創立60周年へ向かう運動の目標から見れば、新版歌集「うた・うた・うた always」を手に全国津々浦々で展開するうたごえ行動“SINGING PEACE 999”、加盟拡大、うたごえ新聞読者最高時めざすことなど、課題は残っている。

日本国憲法施行60周年の今年、憲法「改正」を明言する安倍首相のもと、人間の尊厳をうたい、平和をうたい、闘う人々を励まし、立ち上がる勇気と心を結ぶ喜びを生み出すうたごえは、まさに出番だ。今総会では、06年の活動の成果をふまえ、「うたごえは平和の力」と音楽の輝きで人々を励まし勇気づけていることに確信を持ち、憲法「改正」に国民過半数がNO! の声をあげる状況をつくることも視野に入れた、創造豊かな運動を展開していくために、創立60周年に向かう計画と07年方針を決めたい。